

人権ワークショップ（参加型人権研修）開催

参加者同士の学びの場

# 「みんなが先生、みんなが生徒」

6月6日(木)プラザ西伯で、第1回南部町「気づく・知る・感じる」人権のつどいを開催しました。今回は94名の方にご参加頂きました。

始めに、平成24年度の人権スタンプリーの表彰者82名を代表して長谷川忠実さん(西町)に、人権会議会長の坂本昭文町長より、表彰状と記念品



が贈られました。

研修では、義務教育の教科書無償運動の取り組みを参考に、「義務教育は、これを無償とする」という、憲法二十六条の精神を実現した人々の行動について、みんなで学び合いました。そして今の子どもたちにな何を伝えるのか、私たち大人がどんな人間であろうとするのかなどを話し合いながら、国民の不断の努力の精神（憲法十二条）

(裏)

保護者の皆様へ  
お子様の御入学おめでとうございます。  
この教科書は、義務教育の児童・生徒に対し、国が無償で配布しているものです。  
この教科書の無償給付制度は、憲法に掲げる義務教育無償の精神をより広く実現するものとして、次代をなす子供たちに対し、我が国の繁栄と福祉に貢献してほしいという国民全体の願いをこめて、その負担によって実施されております。  
一年生として初めて教科書を手にする機会に、この制度にこめられた意義と願いをお子様にお伝えになり、教科書を大切に使うよう御指導いただければ幸いです。  
文部科学省

<http://www.mext.go.jp/>



現在も小学校の入学時に配布されている教科書が入っている袋



(表)

を確認しました。会場には、教科書を買っていた時代の人と、タダだった時代の人と、意見を交換し合い「難しい」「自分には関係ないかも」と思いながらも、問いかけに真剣に向き合っている、素敵な「おせの背中」がたくさんありました。皆さまのご協力で有意義な研修会になりました。

## 感想の中から一部紹介します

▼自分にはない知識、意見を聞くことができた。「当たり前」のことに感謝する」ということをしていきたい。(20代男性)

▼教科書無償の題材から、当時の人を読み、今の時代の豊さは「それを大切にすること」と学んだ。(30代女性)

▼大人として、子どもたちへ伝えていかなくてはならない事を再確認しました。(30代男性)

▼講演会を聞くより、一人ひとりの意見が出されて良い会だった。時間が足りないくらいだった(40代男)

▼ワークショップでは、色々な意見が出ました。なかなかまとまりませんでした。が、世代の違う方々の話がうかがえてよかったです。「あたりまえ」と思うことへの感謝の気持ち、やはり大切にしたいですね。(50代女性)



▼今日、参加型学習は皆さんの多様な意見が聞けて良かったと思います。世代の差も大きく、そのことがまた、楽しかったですね。国家に親に地域に感謝しました。(50代男性)

▼教科書の問題一つで、こんなに色々な意見が出て、昔の学校時代の思い出がよみがえってきました。(60代女性)

▼多数の人が参加されていてビックリした。問題意識を持つということが分かった。(60代男性)

▼久しぶりの学習会に参加しました。これからも参加します。(70代男性)